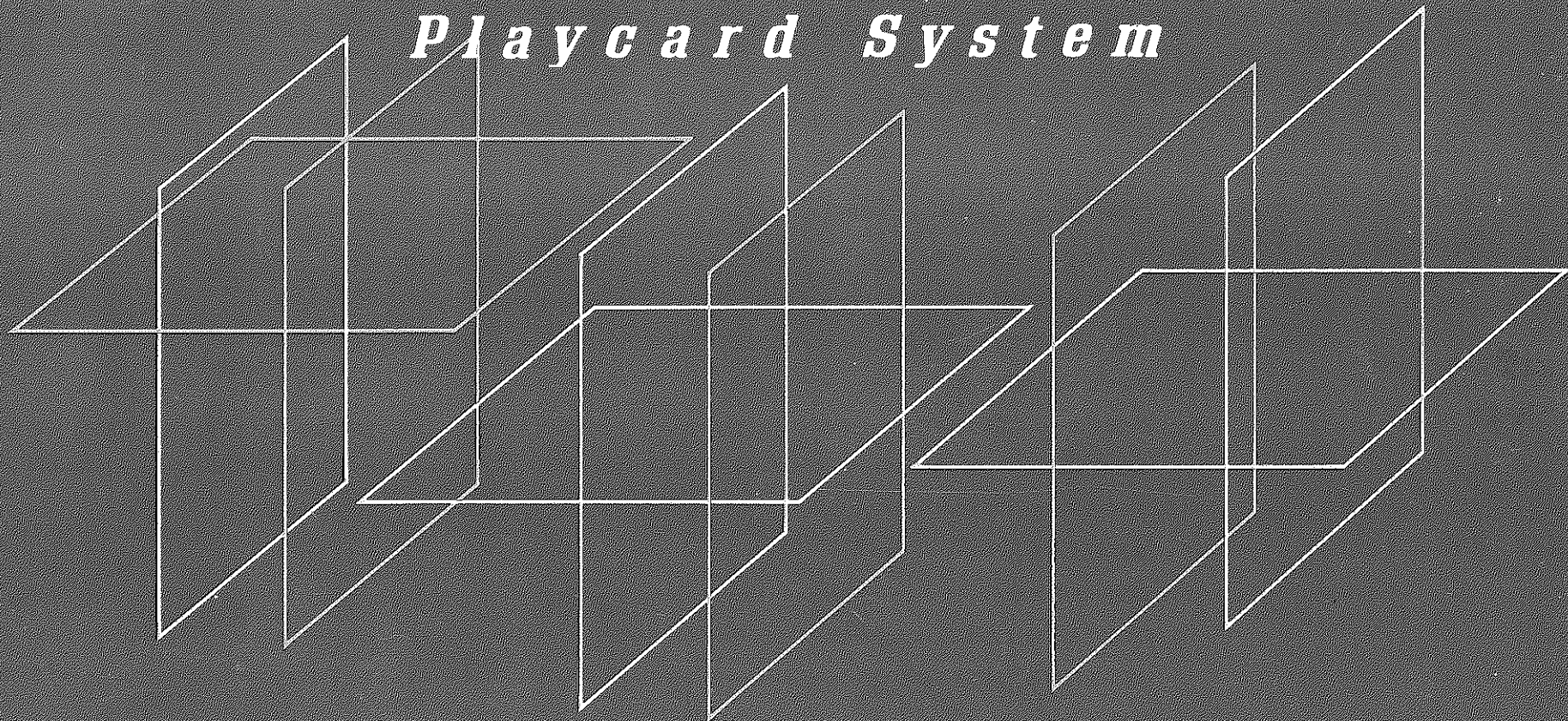


PortaSound PC-50

取扱説明書

Playcard System



YAMAHA

イ・ン・ト・ロ・ダ・ク・シ・ヨ・ン

このたびはヤマハポータサウンドPC-50をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

PC-50は、常に新しい電子鍵盤楽器を誕生させてきたヤマハが、そのエレクトロニクス技術を駆使して作りあげた、画期的なキーボードです。ポータサウンドとしての充実した表現機能に加え、磁気テープを採用したプレイカー

ドシステムによって、聴く・弾く・歌う——と幅広く音楽がお楽しみいただけます。コンパクトなボディに多くの機能を装備したPC-50は、どなたでも親しめ、音楽の楽しさが大きく広がる楽器です。

本書では、PC-50を充分お楽しみいただくために、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

目次

| | ページ |
|--------------------------|-----|
| 演奏の前にちょっと。————— | 1 |
| ポータサウンドを少し勉強しよう。————— | 2 |
| プレイカードとうまくつき合おう。————— | 4 |
| まずはポータサウンドに耳をすまそう。————— | 5 |
| プレイカードと競演しよう。————— | 7 |
| ひとまずカードは置いて。————— | 9 |
| 楽しみ方はまだいっぱい。————— | 10 |
| オートベースコード早見表。————— | 11 |
| 楽譜の読み方。————— | 12 |
| 取扱い上の注意。————— | 13 |
| このような現象は故障ではありません。————— | 14 |
| 楽しさを広げる、付属端子とオプション。————— | 15 |
| 仕様。————— | 17 |
| アフターサービスと保証。————— | 18 |

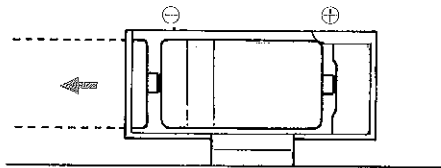
演奏の前にちよつと。

電源

PC-50は3電源方式、外で、家庭で、車の中で楽しむことができます。

●電池の入れ方。

ポータサウンドを裏返したらケースのふたを取り、単2の乾電池を一列に6個入れます。このとき⊕⊖の向きに気をつけてください。



★スイッチを入れたとき、上のランプが暗くなったら電池の寿命、すべて新品と取りかえましょう。

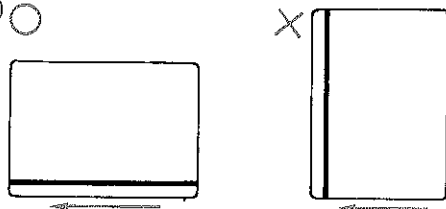
●家庭用のコンセントやカーバッテリーは専用アダプターで付属端子につなぎます(くわしくは15ページを)

●カーアダプター(別売)は12Vマイナスアース車専用。車のバッテリーが12Vかどうか調べてからつなぎましょう。

プレイカード

PC-50のプレイカードはいわばレコードと同じ。大切に扱きましょう。

a.磁気テープ(黒い所)を折ったり、傷つけないでください。(まちがえた方向に入れるとキズがつくことがあります。)○



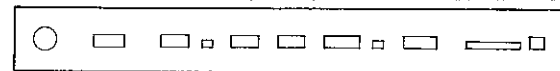
- b.スピーカー、アンプ、テレビの近くなど強い磁場は禁物。データ消滅の場合もあります。
- c.磁気テープには直接触れないでください。
- d.水やアルコールをつけないようにしましょう。
- e.汚れたら、やわらかい布で軽くふきとりましょう。
- f.シンナーやベンジンを近づけないでください。
- g.高温多湿、直射日光に注意。
- h.使わないときは専用のビニール袋へ入れておきましょう。

プレイカードは一定のスピードで、速やかに右から左へスライドさせてください。

和文シート

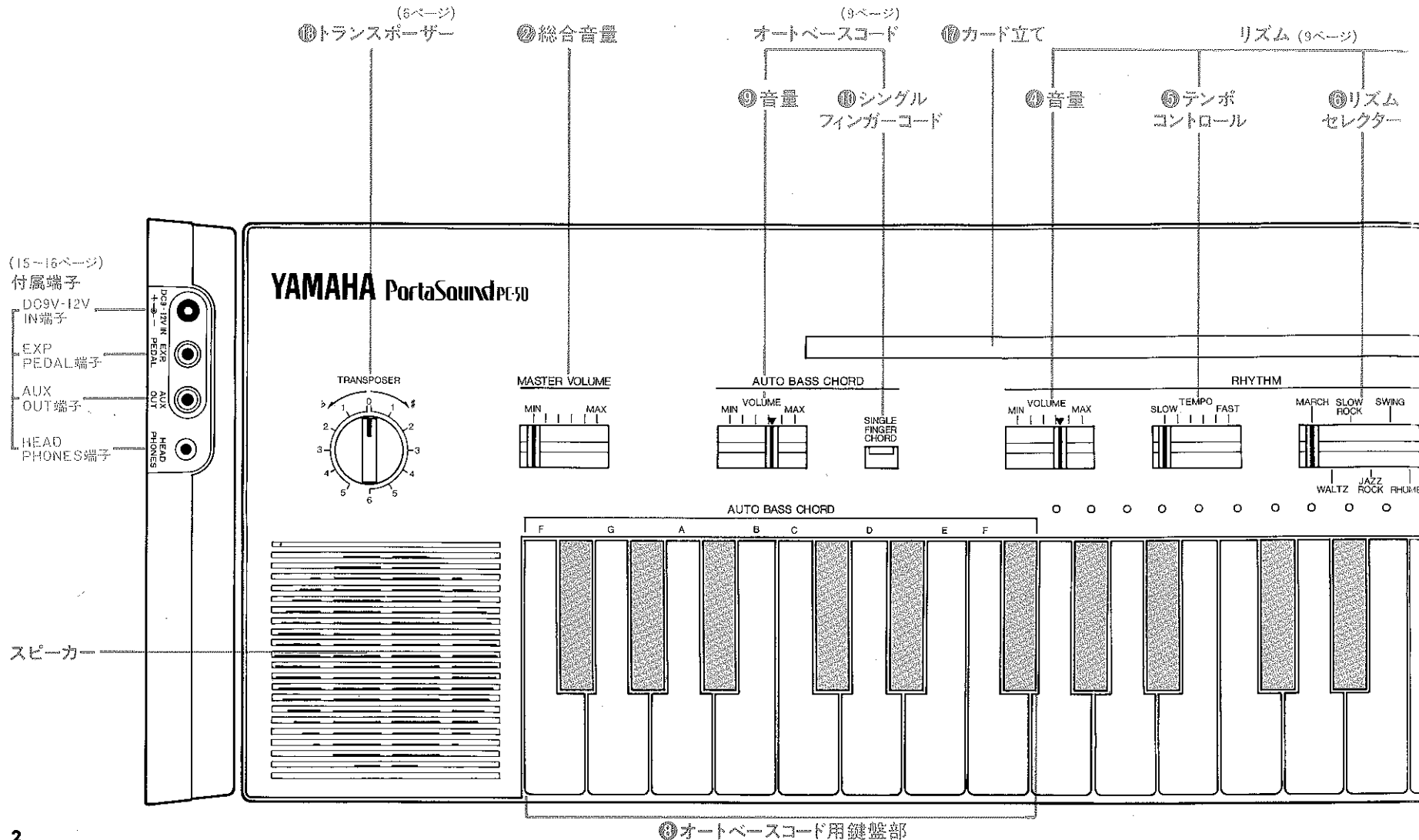
PC-50には、各部の名称を和文で書いたシートがついています。和文の方が使いやすい方は、シートについて両面テープでポータサウンドにはって楽しみましょう。

(保護フィルムをはがしてご使用ください。)

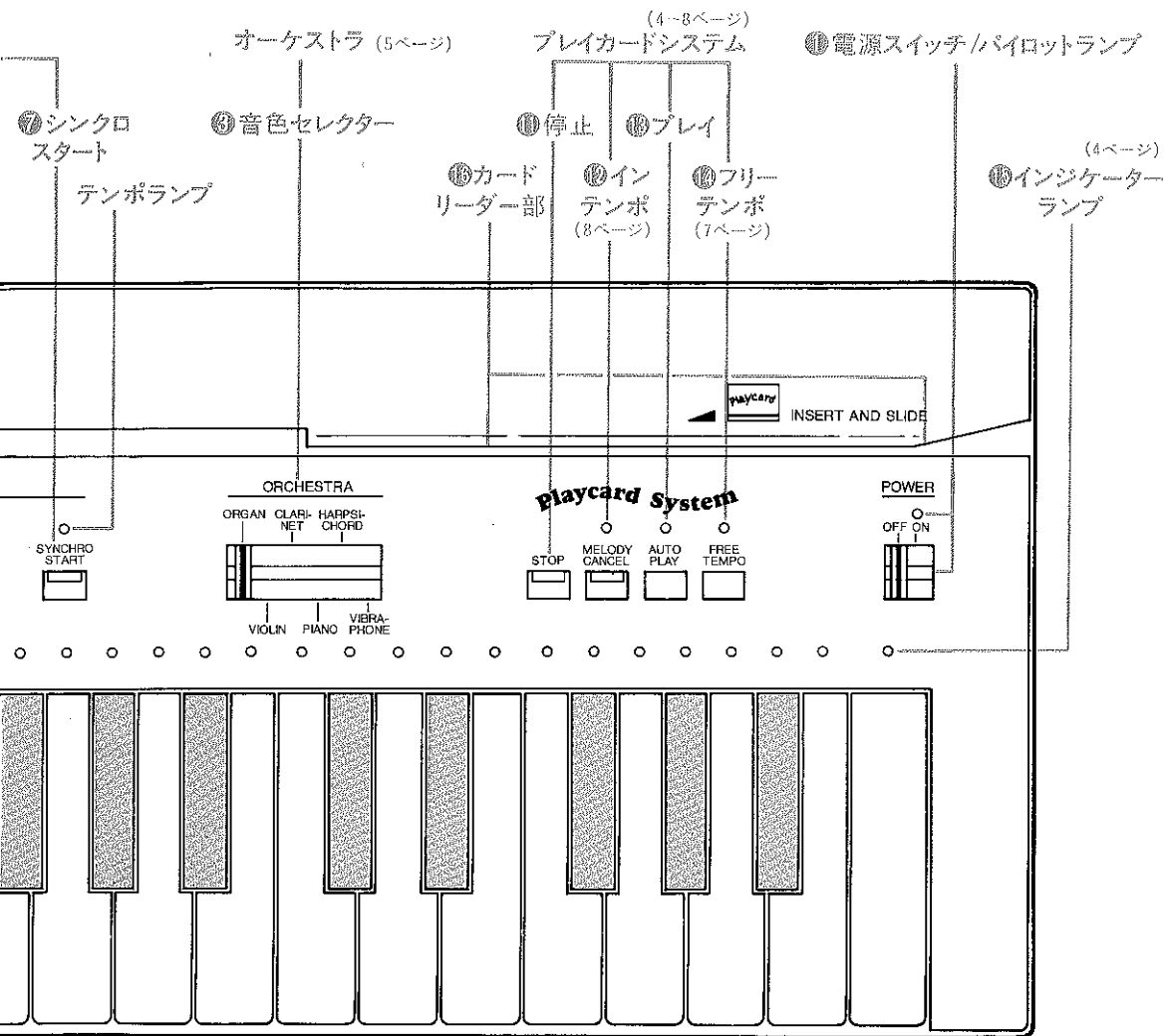


尚、本書ではこの和文シートの名称で説明しています。

ポータサウンドを少し勉強しよう。



ハードケースの内側には、
プレイカードが入ります。



① 電源スイッチ/パイロットランプ

電気が通じるとパイロットランプが点灯します。

② 総合音量

全体の音量を調節します。

[オーケストラ]

③ 音色セレクトター

音色を選ぶレバーです。

[リズム]

④ リズム用音量レバー

リズムの音量を調節します。

⑤ テンポコントロール

リズムのテンポを調節します。

⑥ リズムセレクトター

リズムの種類を選ぶレバーです。

⑦ シンクロスタート

このボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押すとリズムがスタートします。

〔オートベースコード〕

⑧オートベースコード用鍵盤部

オートベースコードを使い演奏するとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

⑨オートベースコード用音量レバー

オートベースコードの音量を調節します。
カード演奏時にはオブリガード用音量レバーも兼ねます。

⑩シングルフィンガーコード

このボタンを押すと指1本で和音を出すことができます。

〔プレイカードシステム〕

プレイカードをセットすると自動的にカードの再生がはじまり曲をくり返し演奏します。

⑪停止

カード演奏を停止させるボタンです。

⑫インテンポ

カード演奏のメロディーをキャンセルするボタンです。このボタンを押すと、曲は頭から一定のテンポで再生され、インジケータランプがメロディーの位置を指示します。(曲が終わると自動的に止まります。)

⑬プレイ

カード演奏を頭から再生します。(曲が終わると自動的に止まります。)

⑭フリーテンポ

カード演奏のメロディーをキャンセルするボタンです。このボタンを押すと、曲は頭から再生され、インジケータランプの指示に合わせて弾くと、弾く人のテンポで伴奏がついてきます。(曲が終わると自動的に止まります。)

⑮インジケータランプ

- a.メロディーの音の位置を示すランプです。
- b.右はしのランプはプレイカードのデータを読みとったことを確認するランプをかねています。

⑯カードリーダー部

プレイカードの磁気テープからデータを読みとり、記憶します。

⑰カード立て

プレイカードを立てることができます。

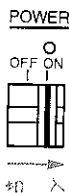
⑱トランスポザー

半音ずつ、上下それぞれ半オクターブまで、キーを変えられます。

プレイカードと うまくつき合おう。

PC-50の最も大きな特長はプレイカードシステム。うまくつき合って音楽ともっと友だちになろう。

①電源スイッチをON。

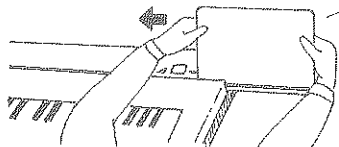


②プレイカードをセット。

プレイカードの磁気テープ(黒いところ)をカードリーダーの(←)印の手前から通します。

★プレイカードはビニール袋から取り出してご使用ください。

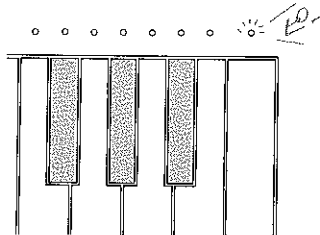
プレイカードの中央を両手で持って一定のスピードで、遠やかに右から左へ水平にスライドさせます。



★両面に磁気テープがあるカードは、両面ともスライド。(どちらからでもよい。)

③信号音を確認。

カードリーダーがデータを読みとるとインジケータランプが点灯して、「ピー！」という信号音。これで準備OK! テンポランプが5回点滅して、再生が始まります。音量とテンポを調整してください。



④1度のセットで楽しさいろいろ。

1度本体に記憶されたデータは電源を切るか、新しいカードをセットしない限り記憶されています。

- ★両面に磁気テープがあるときは片方のスライドが終わると信号音が「ピー、ピー、ピー、ピー。」と4回なって知らせます。両面スライド後、完了音が「ピー！」
- ★停止、インテンポ、フリーテンポのいずれかを押さない限り、曲はリピートを続けます。

まずはポータサウンドに耳をすまそう。

カードのプレイを聴いてみよう!

「プレイカードとうまくつき合おう」をよく見ながら付属カードの「君といつまでも」をセットしよう。

① 曲の構成をつかもう。

プレイカードの楽譜を見ながら曲を聴きましょう。

② オーケストラ音色を変えよう。

プレイカードの裏面にはサウンドガイドとして、その曲に使われている音色やリズムが書いてあります。プレイカードをセットしたら好きな音色に変えてみよう。

★ オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

持続音：鍵盤を押している間、音が続くもの。

減す音：鍵盤を押していても段々音が消えていくもの。

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 持続音 | オルガン バイオリン(ディレイビブラート組込) クラリネット |
| 減す音 | ピアノ ハープシコード ビブラホン(サスティン組込) |

ディレイビブラート：鍵盤を押してから1秒くらいして音が小さみにふるえる効果。

サスティン：鍵盤から指を離れたあとも音が残って、自然に消えていく効果。

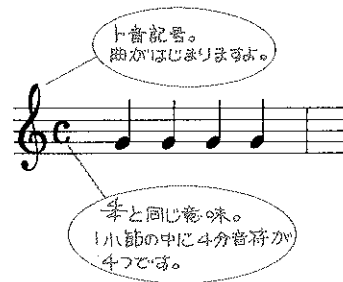
③ リズムを変えてみよう。

プレイカードの裏面を見ましょう。この曲のリズムはスローロック。カードセット後なら、いろんなリズムに変えることができます。(ただし4拍子の曲にワルツをセットしてもメロディーは4拍子のままです。)



④ 少し楽譜を勉強しよう。

a.



b. $\overset{\frown}{\text{♩}}$ は3連音符(3連符)といい、 ♪ (4分音符)を3等分にしたものです。

c. \flat は半音下げる記号。また \sharp は半音上げる記号です。一度 \flat (\sharp)が出てくると、同じ小節内の同じ音程にはすべて \flat (\sharp)がかかります。

d. Coda はコーダと読み、 to Coda から Coda までいっしょに飛びます。ただしそれはリピートしてからの2回めからだけ。まちがえないように。

e. D.S. はダルセーニョ。D.S.まで来たら rit. に戻って繰り返します。この曲はコーダとダルセーニョの2つがでできます。プレイカードを聴きながら、よく理解してください。

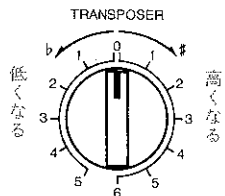
★くわしくは12ページ参照。

カードをノックに歌おう!

曲の構成を大体つかんだら、プレイカードに合わせて歌ってみよう。なかなかいい気分ですよ。

①自分のキーを見つけよう。

プレイカードから流れる曲と、自分の声のキーが違う……悩むことはありません! トランスポーターで自分の声の高さに曲を合わせることができます。



曲の途中で
切りかえ
OK!

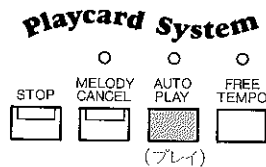
★弾くときにもトランスポーターが便利! [♯]や[b]がいっぱいの曲も、音の位置を移動して、やさしいハ長調の弾き方でプレイできるよ。

②何回も練習しよう。

自動演奏を聴きながら何回でもくり返し歌ってみましょう。

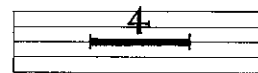
★途中で止めたくなったら停止のボタンを押してください。

★再生のときはプレイを押します。



③出だしに気をつけよう。

何度歌ってもスタートはつきみにくいもの。プレイカードの楽譜では小さな音符で書かれている所つまりこの曲では最初の5小節めの前半までがイントロ。(イントロダクションの略=前奏) また×のような数字は、イントロ、間奏、エンディングがその小節数だけとっており、メロディー演奏は休みという意味。もちろん歌もネ。



④のってきたらインテンポ。

さてのってきたところでインテンポのボタンを押そう。メロディーの音が消えて、いっそう歌がさえるよ。

プレイカードと競演しよう。

自分のテンポでメロディーを!

楽器がはじめての方でも、インジケータランプの指示に合わせてメロディーを弾くと、弾く人のテンポで伴奏がついてきます。

フリーテンポ

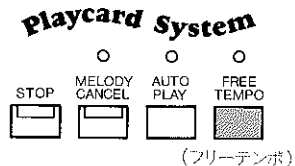
①まずはカードのセット! (4ページ参照)

プレイカードの中央を両手で持って一定のスピードで速やかに右から左へ水平にスライドさせます。
(自動的にカード演奏がはじまります。)

②フリーテンポをON。

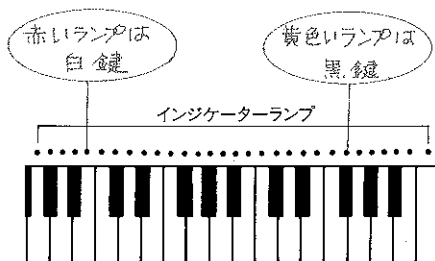
曲はいったんストップして、頭から再生されます。

★テンポランプが点滅している間にONすれば最初からフリーテンポで再生。



③ランプを追いかけてよう。

前奏が終わるとインジケータランプがひとつだけ点灯。ランプの鍵盤を弾いてみてください。ホラ、別のランプがつかますネ、こんなふうに次々にランプが弾く鍵盤を知らせてくれ、あなたのメロディー演奏に伴奏がついてきます。



④さようなら1本指。

そろそろ1本の指からは卒業してなるべく全部の指を使ってスムーズに弾けるようにしましょう。ガンバレ!



フィンガリングの基本

となりの音はとなりの指で...

広い音域では指を交わせてスムーズに。

一定のテンポでメロディーを!

メロディーがキャンセルされ、一定のテンポでインジケータランプがメロディーの位置を指示します。

インテンポ

①まずはカードのセット! (4ページ参照)

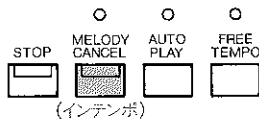
プレイカードの中央を両手で持って一定のスピードで速やかに右から左へ水平にスライドさせます。
(自動的にカード演奏がはじまります。)

②インテンポをON。

曲はいったんストップして、頭から再生されます。

★テンポランプが点滅している間にONすれば最初からインテンポで再生。

Playcard System



③自分のテンポを見つけよう。

インテンポで弾くと、伴奏もランプも一定のテンポで進みます。はじめのうちは、テンポをおおめにセットしてじっくり練習しよう。

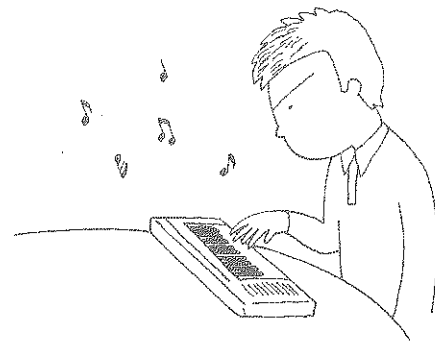


④ランプから卒業しよう。

もうそろそろ、ランプにたよらず自分でちゃんと楽譜を見ながら弾きましょう。

⑤5本の指でがんばろう。

指使いには、特別な決まりはありません。自分の弾きやすい方法でよいのです。でも、できるだけ合理的に指を動かすように工夫しましょう。

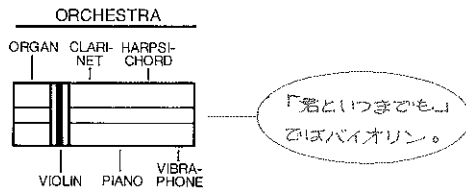


ひとまずカードは置いて。 /

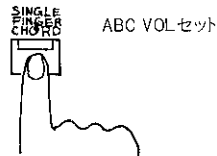
自分で伴奏をつけてみよう。

今度は「君といつまでも」を自分で弾いてみよう。シングルフィンガーコードは指1本で和音演奏ができます。

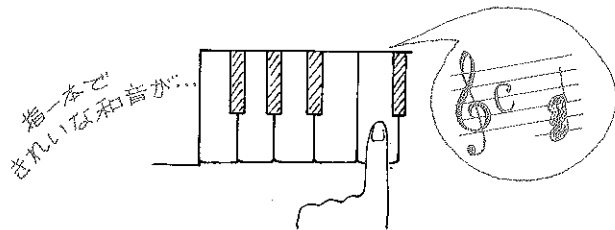
① まずは音色をセレクト。



② シングルフィンガーコードをON。



③ オートベースコード用鍵盤を押すと……。

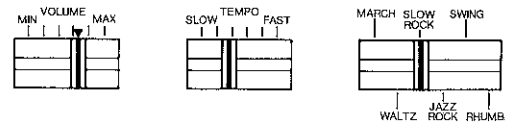


★11ページを見ながら[E_m]や[F]、[G₇]なども押さえてみよう。コードの持続音でコード進行を覚えよう。

④ リズム・セットでオートベースコード完成。

自信がついてきたらリズムを決めテンポと音量をセットしてシンクロスタートをON。これでオートベースコードは完成です。

リズムは6種類 「君といつまでも」ではスローロック



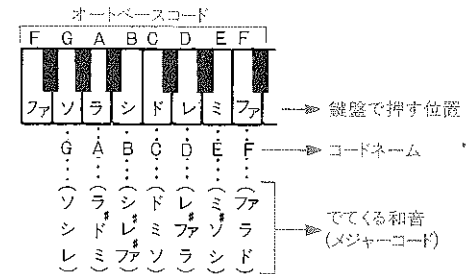
このランプはリズムの速さを示しています。これが点滅しはじめたらスタート準備完了。



★オートベースコードは和音とベース音による自動伴奏です。一度押さえると記憶されるので、鍵盤から指を離しても、同じ伴奏が繰り返されます。つまりコードをかえるときだけ、鍵盤を押しなおすわけです。

⑤ オートベースコードで伴奏をつけて曲を弾いてみましょう。

まず、次の図を見てください。



これは、オートベースコード用鍵盤を押す位置と、出てくる和音の関係を示したものです。

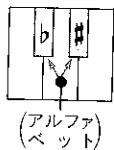
「君といつまでも」でオートベースコードの練習をしましょう。

- ★ストップするときはもう一度、シンクロスタートかシングルフィンガーコードを押します。
- ★コードを変えるところで、指を鍵盤からはなすに動かすと、コードが変わらないことがあります。鍵盤を押したらすぐ指をはなすようにすると、うまくいきます。
- ★リズムとオートベースコードを使って伴奏するとき、伴奏の音色は、音色セクターで選んだ音色に関係ありません。

楽しみ方はまだいっぱい。

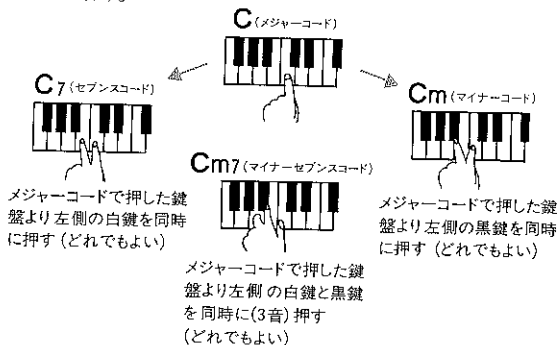
♯、♭のついているコードの出し方

メジャーコードの中には、[F♯]や[B♭]のように♯(シャープ)や♭(フラット)のついているものがあります。この♯、♭は、音符についている場合と同じように、半音上げる(シャープ)、半音下げる(フラット)ように指示する記号です。♯がついていたら、左ページで説明した位置の右上の黒鍵、♭がついていたら左上の黒鍵を押します。



セブンスコード、マイナーコードなどの出し方

伴奏はメジャーコードだけでなくセブンスコード(例えばG7)やマイナーコード(例えばAm)もよく使われます。これらのコードは図のように2つおよび3つの鍵盤を同時に押します。



ひと味ちがう名プレイ。

メロディーにカウンターラインをつけたり、個性的なフェイクやアドリブで差をつけよう。

㊦カウンターラインをつけよう。

カード演奏にもうひとつのメロディーをのせる——カウンターラインはコードの流れにできるだけあった音を選びます。主旋律より低い音域で、カード演奏のオブリガートが少ない所に入れるのがコツです。

㊧アドリブにチャレンジ。

カード演奏のメロディーをマスターしたら、フェイク(メロディーを飾って演奏すること)やアドリブ(楽曲のコードによって自由にメロディーラインを創ること)に挑戦しよう。

いろいろな楽器とアンサンブル。

ピアノやエレクトーン、ギターなど身近な楽器でPC-50とアンサンブルが楽しめます。

㊦カードをバックにソロ演奏。

インテンポのボタンを押して、カード演奏をバックにお得意の楽器でソロを弾こう。

㊧カードに伴奏をつけよう。

オートベースコードの音量を最小にすると、オブリガートと伴奏が消えます。いろいろな楽器で伴奏しよう。

㊨カードと一緒に合奏しよう。

リズム楽器や身近な楽器で、ポータサウンドを開んでの合奏はいかがですか。

君といつまでも (カウンターラインの例)

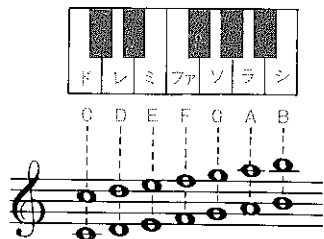


オートベースコード早見表。

| メジャー・コード そのコード名のキーを押します。 | | マイナー・コード そのコード名のキーと、それより低い方の黒鍵を押します。 | | セブンス・コード そのコード名のキーと、それより低い方の白鍵を押します。 | | マイナー・セブンス・コード そのコード名のキーと、それより低い方の黒鍵と白鍵を押します。 | |
|--------------------------------|--|---|--|---|--|---|--|
| C | | Cm | | C7 | | Cm7 | |
| C [♯] /D [♭] | | C [♯] m/D [♭] m | | C [♯] 7/D [♭] 7 | | C [♯] m7/D [♭] m7 | |
| D | | Dm | | D7 | | Dm7 | |
| D [♯] /E [♭] | | D [♯] m/E [♭] m | | D [♯] 7/E [♭] 7 | | D [♯] m7/E [♭] m7 | |
| E | | Em | | E7 | | Em7 | |
| F | | Fm | | F7 | | Fm7 | |
| F [♯] /G [♭] | | F [♯] m/G [♭] m | | F [♯] 7/G [♭] 7 | | F [♯] m7/G [♭] m7 | |
| G | | Gm | | G7 | | Gm7 | |
| G [♯] /A [♭] | | G [♯] m/A [♭] m | | G [♯] 7/A [♭] 7 | | G [♯] m7/A [♭] m7 | |
| A | | Am | | A7 | | Am7 | |
| A [♯] /B [♭] | | A [♯] m/B [♭] m | | A [♯] 7/B [♭] 7 | | A [♯] m7/B [♭] m7 | |
| B | | Bm | | B7 | | Bm7 | |

楽譜の読み方。

■五線譜の読み方は。
はじめに、鍵盤と五線譜
の関係を示してみると...



■音符と休符の長さは。

| 音符の種類と名称 | 4分音符と比較した長さ | 休符の種類と名称 | 4分休符と比較した長さ |
|----------|------------------|----------|-----------------|
| 全音符 | ↑↑↑↑ 4つ分のぼす | — | ♪♪♪♪ 4つ分休む |
| 付点2分音符 | ↑↑↑ 3つ分のぼす | — | ♪♪♪ 3つ分休む |
| 2分音符 | ↑↑ 2つ分のぼす | — | ♪♪ 2つ分休む |
| 4分音符 | ↑ 1つ分のぼす | ♪ | ♪ 1つ分休む |
| 8分音符 | ♪ (♪=↑) 半分にする | ♪ | ♪ (♪=♪) 半分休む |
| 3連音符 | ♪ (♪=♪) 3等分する | | |

(♪♪♪) は♪を3等分

■記号を覚えましょう。

| 記号とよみ方 | 意味 |
|---------------|----------|
| # シャープ | 半音あげる |
| b フラット | 半音さげる |
| ♮ ナチュラル | もとの音にもどす |
| — タイ | 音を続ける |
| — スラー | なめらかに |
| ∩ フェルマータ | その音をのぼす |
| Tacet タセット | 伴奏を休む |
| Fine フィーネ | おわり |

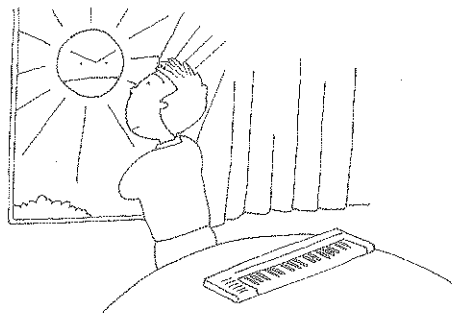
| 記号とよみ方 | 意味 |
|----------------------------|--------------------|
| : : リピート | くりかえし |
| 1 2 : 1番かっこ 2番かっこ | くりかえしのあと2へ。 |
| D.C. ダカーポ | 最初から。 Fine D.C. |
| D.S. ダルセーニョ | 記号*から Fine D.S. |
| ♯ Coda コーダ | くりかえしのあと♯Codaへ。 |

取扱上の注意。

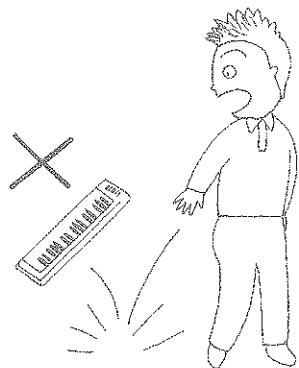
PC-50をながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

- 電池が消耗すると、雑音を生じたり、誤動作の原因となることがあります。電池を全部新しいものと取りかえてください。
- カードリーダーや音量レバー、鍵盤などのすきまに、ホコリや異物、特に、ヘアピン、針、硬貨などの金属物が入らないようお気をつけください。異物が入りますと、故障の原因となることがあります。また、ほこりの多い場所での使用もさけてください。
- PC-50のスピーカーには、磁石を使用していますので、プレイカードやキャッシュカードを近づけすぎないようにしてください。
- ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間使わないときは、電池を本体からぬいておいてください。電源アダプターの場合も、使わないときは、プラグをぬいておいてください。

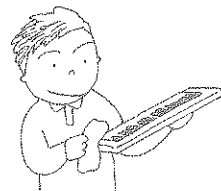
- 特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- 強い直射日光に長時間さらすことはさけてください。



- 過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。



- 暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。
- 本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でカラぶさしてください。よごれが目立つときは、少し水で湿らせた布でふいてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



- ホコリや衝撃から守るため、ご使用にならないときは、ケースに収めるようにしてください。



このような現象は故障ではありません。

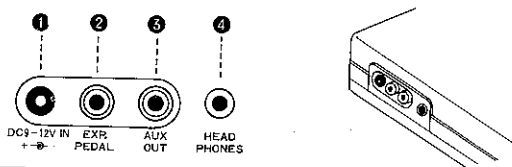
| 現象 | 原因と解決法 |
|---------------------------------|---|
| 音色セクターで選んだ音色が出ない。 | リズムとオートベースコードを同時に使うとき、伴奏の音色は、音色セクターで選んだ音色とは関係ありません。 |
| 鍵盤を同時に9音押さえても8音しか出ない。 | 鍵盤の音は、同時に最高8音までしか出ないようにになっています。また、オートベースコード使用時はメロディー部で同時に4音までしか出ません。 |
| リズムの音が出ない。 | ①シンクロススタートがOFFになっている。 ②オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③リズム音量が最小になっている。 |
| オートベースコードの音が出ない。 またリズムにのらない。 | ①シングルフィンガーコードのボタンが押されていない。 ②シンクロススタートがOFFになっている。 ③オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ④オートベースコード用音量が最小になっている。 ⑤プレイカード再生中はオートベースコードは使用できません。 |
| 音がひずむ。 | ①すべての音量を最大にするとひずむことがあります。 ②電池がなくなりかけています。すべて新しい電池と取りかえてください。 |
| ステレオに接続したり、FMトランスミッターを使うと音がひずむ。 | 総合音量が最大になっているとひずむことがあります。 |

●プレイカードシステムを使用する場合

| 現象 | 原因と解決法 |
|----------------------------------|---|
| 曲が再生されない。 | カードリーダーが、データを完全に読みとっていません、もう一度セットしなおして、インジケータランプの点灯と信号音を確認してください。 |
| 伴奏がきこえない。 | オートベースコード用音量が最小になっている。 音量を上げましょう。 |
| リズム音がきこえない。 | リズム用音量が最小になっている。音量を上げましょう。 |
| 本体でセットした音色やリズムで曲が再生されない。 | 曲の再生前のリズム、音色は無効です。カードそう入後のみ音色やリズムを変えることができます。 |
| 演奏しているとき、鍵盤を同時に4音押しても3音しかでない。 | プレイカードシステムで演奏しているとき、鍵盤では同時に3音までしかでないようになっています。先に押さえた3音が優先されます。 |
| プレイで演奏しているとき、鍵盤で鳴らした音色が変化してきこえる。 | 鍵盤を押すタイミングによって、一瞬音色が変化してきこえることがあります。ご心配いりません。 |

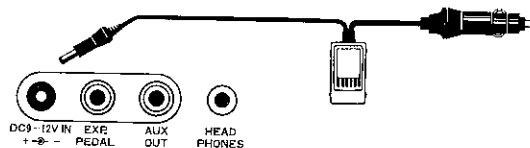
楽しさを広げる、付属端子とオプション。

PC-50の本体左側には、図のような付属端子がついています。これらを活用すれば、楽しさはいっそう広がります。



① DC 9V-12V IN端子

家庭用コンセントやカーバッテリー（シガーライターソケット）から電源をとるときには、この端子を使います。専用のアダプターを接続してください。

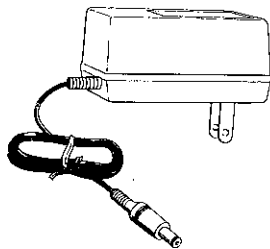


オプション(別売)

●電源アダプター

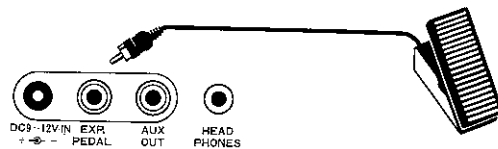
〔PA-1〕 ¥2,000

AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器です。本体の〔DC9V-12V IN〕へ電源を供給します。



② EXP. PEDAL端子

エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自由に音量を調節することができるペダルです。このEXP. PEDAL端子に接続してお使いください。

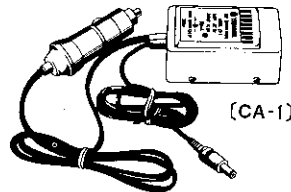


専用マイクをお使いになるときも、この端子に接続します。

●カーアダプター

〔CA-1〕 ¥3,900

車のシガーライターソケットから本体へ電源を供給します。このアダプターは、異常電圧から本体を保護するための回路を内蔵しています。

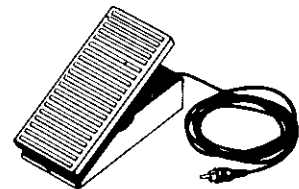


オプション(別売)

●エクスプレッションペダル

〔EP-1〕 ¥2,400

音量を自由にコントロールできるフットペダルです。EP-1を取り付けることで、表現力をいっそう幅広いものにすることができます。



●アンプ付エコーマイク

〔EM-100〕 ¥11,800

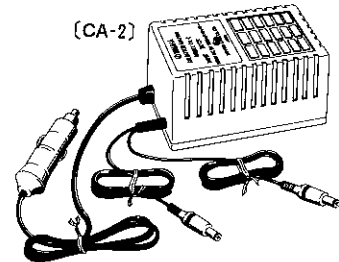
EM-100は、アンプ、電子エコーを内蔵しています。EM-100を接続すると、プレイカードでうたうとき、より楽しさが増します。ステレオに接続することもできますので、カラオケ用としてもお使いいただけます。



●カーアダプター

〔CA-2〕 ¥7,200

接続コードが2つに分かれているタイプで、本体と同時にトーンボックスなどへの電源が取りだせます。

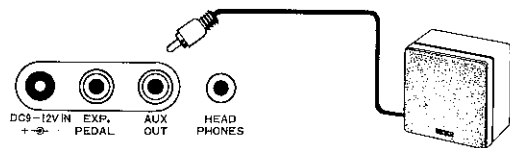


③ AUX OUT 端子

(A) より豊かな音量で。

PC-50は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、より大きな音量が必要なときには、このAUX OUT端子を使って、アンプや専用スピーカー(TO-100)などに接続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。

また、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときにも、この端子を使います。ステレオなどのLINE IN (AUX IN) ジャックに接続してください。



(B) 演奏を録音

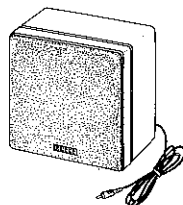
PC-50の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE IN (AUX IN) ジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。

オプション(別売)

●スピーカー

[TO-100] ¥5,800

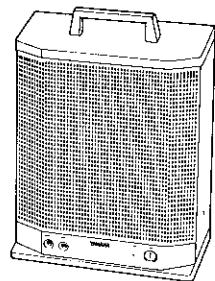
TO-100は、PC-50・100、PS-300・400専用の外部スピーカーです。AUX OUT端子に接続してより豊かな音量で演奏を楽しむことができます。



●トーンボックス

[TO-1] ¥28,000

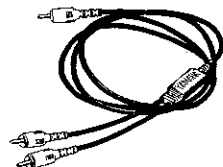
TO-1はPSシリーズ専用の外部スピーカーで、アンプを内蔵しています。TO-1を接続すると、より豊かな音量で演奏を楽しむことができます。(出力5W)



●分岐接続コード

[PC-2] ¥1,000

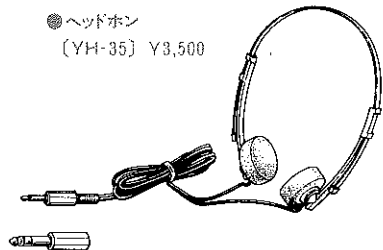
出力をステレオに接続して録音したり、ステレオ装置で音をだしたいときに使う分岐接続コードです。



オプション(別売)

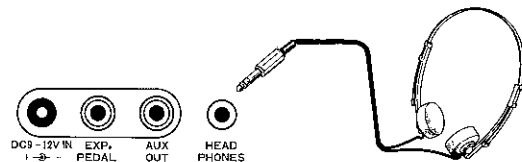
●ヘッドホン

[YH-35] ¥3,500



④ HEADPHONES 端子 (ミニジャック)

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。

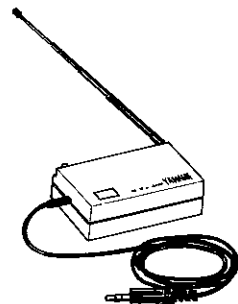


FMトランスミッターをお使いになるときも、この端子に接続します。(このとき、本体のスピーカーからは、音は出ません)

●FMトランスミッター

[PTM-1] ¥3,600

PTM-1は、FMステレオなどの受信機に発信することができます。コードが不要ですから、よりアクティブな楽しみ方ができます。



仕様。

- ▶ **鍵盤数**
44鍵(F1-G5)
- ▶ **音色**
オルガン
バイオリン(ディレイビブラート組込)
クラリネット
ピアノ
ハープシコード
ビブラホン(サステイン組込)
- ▶ **リズム**
マーチ
ワルツ
スローロック
ジャズロック
スイング
ルンバ
〈コントロール〉
シンクロスタートスイッチ
テンポコントロール
リズム用音量レバー
テンポランプ
- ▶ **オートベースコード**
シングルフィンガーコード
〈コントロール〉
オートベースコード用音量レバー
- ▶ **プレイカードシステム**
ストップ
フリーテンポ
インテンポ
プレイ
〈コントロール〉
オブリガート用音量レバー
(オートベースコード用音量レバーと共用)
鍵盤インジケータランプ
プレイカードデータ入力ヘッド
- ▶ **コントロール**
電源スイッチ
パイロットランプ
総合音量レバー
トランスポージャー(±半オクターブ)
- ▶ **付属端子**
HEADPHONES 端子
AUX OUT 端子
EXP.PEDAL 端子
DC 9V-12V IN 端子
- ▶ **メインアンプ**
1.4W(6Ωインピーダンス)
- ▶ **スピーカー**
7.7cm(6Ωインピーダンス)
- ▶ **定格電源電圧**
DC9V: 単2乾電池6個
電源アダプター(PA-1)
カーアダプター(CA-1)
- ▶ **消費電力**
5.6W(電源アダプターPA-1使用、オルガン最大音量時)
2.7W(乾電池使用最大音量時)
★電池使用可能時間——プレイカードでプレイした時、連続およそ5~10時間
★プレイカードシステム、専用スピーカー(TO-100)使用時——プレイカードでプレイした時、連続およそ3~6時間
- ▶ **寸法・外装**
間口62.3cm、奥行18.6cm、高さ4.3cm、
重量1.9kg(電池を含まず)、MIPS樹脂
- ▶ **付属品**
専用ハードケース
単2乾電池6個
プレイカード6枚
クリーニングカード1枚
和文シート

アフターサービスと保証。

●サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店が石記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任をすべて修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“このような現象は故障ではありません”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けしますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間に不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

〈お密様ご相談窓口〉

東京電音サービスセンター

- 東京ステレオサービスステーション
- 東京電音サービスステーション
- 横浜電音サービスステーション
- 新潟電音サービスステーション

大阪電音サービスセンター

- 大阪ステレオサービスステーション
- 大阪電音サービスステーション
- 四国電音サービスステーション

名古屋電音サービスセンター

- 名古屋電音サービスステーション
- 北陸電音サービスステーション
- 浜松電音サービスステーション

九州電音サービスセンター

- 九州電音サービスステーション
- 広島電音サービスステーション

北海道電音サービスセンター

- 北海道電音サービスステーション

仙台電音サービスセンター

- 仙台電音サービスステーション

〈お預りの器修理拠点〉

- 東京電音サービスデポ
- 大阪電音サービスデポ
- 名古屋電音サービスデポ
- 九州電音サービスデポ
- 北海道電音サービスデポ
- 仙台電音サービスデポ

〈本社〉

- 営業技術部 電音サービス課

☎(03) 255-2241

☎(03) 255-2241

☎(03) 255-2241

☎(045)212-2223

☎(0252)43-4321

☎(06) 877-5262

☎(06) 877-5262

☎(06) 877-5262

☎(0878)22-3045

☎(052)231-2432

☎(052)231-2432

☎(0762)43-5341

☎(0534)56-9211

☎(092)472-2134

☎(092)472-2134

☎(082)874-3787

☎(011)781-3621

☎(011)781-3621

☎(0222)22-6144

☎(0222)96-0249

☎(03) 904-4901

☎(06) 877-5262

☎(052)231-2432

☎(092)472-2134

☎(011)781-3621

☎(0222)96-0249

☎(0534)65-1111

〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

〒100 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

〒231 横浜市中区本町6-61-1

〒950 新潟市万代1-4-8(シルバールールビル2F)

〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

〒760 高松市丸亀町8-7

〒460 名古屋市中区栄1-8-7

〒460 名古屋市中区栄1-8-7

〒921 金沢市泉本町7-7

〒432 浜松市東伊場2-14-1

〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

〒065 札幌市東区本町1条9-3

〒065 札幌市東区本町1条9-3

〒980 仙台市大町2-2-10(住友生命仙台青葉通りビル)

〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター3F)

〒171 東京都練馬区高野台2-3-10

〒564 吹田市新芦屋下1-16千里丘センター内

〒460 名古屋市中区栄1-8-7

〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

〒065 札幌市東区本町1条9-3

〒983 仙台市卸町5-7(卸商共同配送センター3F)

〒430 浜松市中沢町10-1

本 社 / 〒430 浜松市中区大野10-1
TEL 0534(65)1111

東 京 支 店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-16/パールビル
TEL 03(572)3111

大 阪 支 店 / 〒542 大阪市港区南船場3-12-9/心斎橋ビル東館
TEL 06(254)1111

名 古 屋 支 店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

九 州 支 店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

北 海 道 支 店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL 011(512)6113

仙 台 支 店 / 〒980 仙台市大町2-2-10
TEL 0222(22)6141

広 島 支 店 / 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F
TEL 082(221)4122

浜 松 支 店 / 〒430 浜松市田町32/東京海上ビル
TEL 0534(54)4116

